

クロックミップレベルⅢ認証の現状と今後

助産所部会長 鈴木令佳



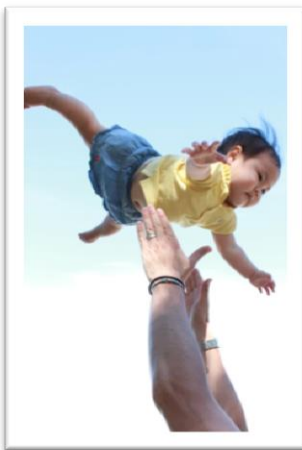
助産師実践習熟段階 CLoCMiP レベルⅢ認証制度は 2015 年 8 月に始まり、全国で 1 万人以上の助産師が認証を受けています。アドバンス助産師は自立して助産ケアを実践できることを認証されていることから 5 年ごとの更新制となっています。今後も神奈川県助産師会でも助産師が継続的に自己啓発を行い、専門的能力を高めることにより、妊産褥婦・新生児に対し、安全で安心な助産ケアを提供できること、そして社会や組織が助産実践能力を客観視できることを目的としたこの認証を会員がさらに受けられるよう、また継続認証が受けられるように研修会を企画運営していきたいと考えています。

CLoCMiP レベルⅢ認証制度とは

助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）®Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice : CLoCMiP®レベルⅢ認証制度は、CLoCMiP®レベルⅢに達した総合評価の証明と、研修受講および試験による知識習得状況を日本助産評価機構が審査し、認証する制度であり、認証された助産師はアドバンス助産師と呼称される。



ほっこりおもしろ写真館



ジャンプ！



なかよし

ほっこりユニークな写真を募集中
事務局にメールをお願いします。

事務局より

- ・長年事務局として助産師会を支えてくださった樋口さんが退職されます。お疲れ様でした。そして新しく磯村さんが入職されました。よろしくお願いいたします。
- ・入会キャンペーン実施中。詳しくは事務局まで。
- ・平成 30 年度の会費の引き落としが 2 月中旬にあります。残高の確認をお願いいたします。
- ・facebook 始めました。

編集後記

かながわ版助産師マップ vol.5 が完成致しました。事務局で 1000 円にて販売しております。ぜひ、お手元に一冊お持ちください。今年も残すところあと僅かになりました。よいお年をお迎えください。（野村）



みらい

編集・発行 神奈川県助産師会 広報委員会 横浜市中区富士見町 3-1 総合医療会館 6 階
Tel 045(262)4201 Fax 045(348)9020 (受付時間 月～金 9:00～17:00)
ホームページ <http://kanagawa-josanshi.com/> メール office@kanagawa-josanshi.com

公益社団法人
神奈川県助産師会会長挨拶
会長 村上明美



皆様、いかがお過ごしでしょうか。このニュースレターがお手元に届くころは、年の瀬も迫り、公私ともにあわただしい日々をお過ごしのことと思います。

昨年 2016 年は、出生数が 976,979 人となり、1899 年に統計をとり始めて以来はじめて 100 万人を割り込むという衝撃的な年でした。少子化は一向に歯止めがかかりません。

一方で、死亡数は戦後最多の 1,307,765 人で 33 万人余りの自然減となりました。最新の将来推計人口では出席率は今後 1.43 前後で推移する見通しで、政府が目標とする「希望出生率 1.8」は絵に描いた餅で終わりそうです。

このような人口構造が大きく変わる激動の時代だからこそ、われわれ助産師は、すべてのライフステージにある女性の健康を支えていく必要があります。相互の関係が尊重される社会、子どもが欲しい時に産める身体、出産や子育てがしやすい環境、年齢を重ねても自立できる生活などを求めて、今こそ助産師は女性と共に Woman Centered Care の確立を目指して立ち上がる時なのです。

公益社団法人
日本助産師会会長挨拶
会長 山本詩子



公益社団法人日本助産師会第 10 代会長に就任し、5 か月が経過しました。大先輩より繋いできた会長のバトンを受け取り、無我夢中で走り続けています。神奈川県衛生看護専門学校を卒業し助産師になり 37 年が経過し、大学病院勤務を経て、助産所を開業してから 23 年になるたたき上げの助産師です。助産所開業当初より神奈川県助産師会に所属して先輩諸姉に様々なことを学び今に至っています。医療法の改定、助産所ガイドラインの策定などにかかわりながら周産期医療において助産師の位置づけを明確にすることに注力してきました。当面の継続課題として会員増強により組織力強化に努めたいと思います。日本助産師会が真髄としているところは、助産師が本来得意とする自然分娩や母乳育児をさらに専門性を高めながら母子や家族に届け、安全で快適なケアを提供することです。明るく楽しくポップで「入会したくなる助産師会」を目指し、骨身を惜しまず働き、助産師会発展に寄与する所存です。



一緒に活動してみませんか？

広がる助産師の可能性



企業への助産師派遣の現状報告

事業担当 中島清美



当会は平成 24 年公益法人を取得し地域社会に向けて事業活動の拡充を図ってきました。助産師派遣はその一つの事業となっています。赤ちゃん本舗アリオ橋本店様、テラスモール湘南店様よりご依頼をいただき、会員 13 名が担当し、妊婦さんを対象に妊娠・出産・育児に関する情報の講義と、沐浴指導や体験指導を行っています。

また、平成 28 年 9 月よりイオン東戸塚のキッズリパブリックにて毎週水曜日・日曜日に育児相談員として 2 名ずつ勤務にあたり、現在 11 名の登録助産師がシフトを組んで活動しています。毎回 20 名以上の相談があり、定期的に相談に来る方も見られるようになりました。徐々に活動が周知されてきた状況です。この 11 月より相談員カンファレンスを定期的に関き今後の活動の発展につなげていきたいと計画しています。

ふれあい助産師サロンの現状と今後の課題 ハローベビーかながわ責任者 高村順子



ふれあい助産師サロンは毎月 1 回、約 2 時間の講座で前半に「ベビーマッサージ」、後半に「育児相談」、「離乳食」、「卒乳」の会を交互に開催しています。¥1000/回の参加料を頂き、平均して 12 組の母子が各回に参加されています。アンケートでは「リラックスできた」、「他の方の意見を聞いて良かった」と概ね好評な御意見を頂く事が多いです。

今後の課題として、最近他のお母様と交流していない方も見受けられます。皆さんお一人お一人に満足のいく会になるようお声掛けをしたり、集団指導の特性を生かし横のつながりを強めたりする工夫がより一層求められているのかもしれません。



家族で聴きたい「いのちのはなし」を担当して いのちのはなし会議部 大貫詩織



いのちのはなし会議部では、年 4 回地域の小学生向けの講座を開催しています。講座の大きな特徴は”家族で”受講すること。本講座に参加したことが家族で性やいのちのはなしをするきっかけになったとの感想もいただいています。

また、今年度は講座の基盤となるガイドライン作成にも着手し、すべての講師が一定の水準で講座展開を担えるよう講師育成にも力を入れています。

学校への出前講座などさらなる事業拡大のため、会議部全員でアイデアを出し合い奮闘してまいります。



助産師は生きる力

～助産師歴 60 年以上 神奈川県助産師を牽引～



日本助産師会神奈川県支部長として長年にわたって神奈川県の助産師を牽引し、現在も監事として会を支えてくださっている中田民子さんにお話をお聞きしました。

◆助産師になった理由を教えてください。

一母が昭和 4 年から助産院をやっており、自然の流れで助産師になった。将来、何になりたいとかそんなのはなく、男兄弟しかいなかったから、当たり前のように助産師になった。

◆伊井助産院をずっとやってきて大変なことはありましたか？

一助産院をやっていて大変なことはない。お産は何が起こるかわからないから、早め早めに異常を見極めて、異常になる前に病院に送る。たくさんの女性たちをみてきたから、その人をみると助産院でお産して良いのかいけないのかわかるようになる。私は自信がないから誰でも受けないし、異常になりそうな人は助産院で受けない。欲を出して引き受けても異常があったらそれ以上に大変になるから危ないことはやってはいけない。

昔はガイドラインもないから、逆子のお産も当たり前だった。自由な時代に助産師をやっていたから私は幸せだった。今は何でもやっちゃダメになったから、どんどん助産師のできることが少なくなってきた。助産師って何する人？と言われてもしょうがない。これからの助産師にとっては受け継ぐ仕事が少ない狭い道となっていると感じている。

◆これからの助産師にメッセージをお願いします。

一〇〇のおばあさんでなくて、助産師として死にたいと自分は思っている。今の助産師には仕事に誇りをもち、助産師として全うしてほしい。人任せでなく、自分の責任において一本筋を通してポリシーをもって生きてほしい。へなちょこでもいいから自分流で良いのよ。きちんと信念をもって生きていってほしい。私にとって助産師とは“生きる力”だと思う。

昭和のベビーブーム時代を助産師として全うしてきた中田先生の言葉に、重みを感じながら耳を傾けていたら、あっという間に時間が過ぎていました。助産師の独自性を確立していった先人であると実感し、同時に今求められる助産師の独自性とは何かという課題を投げかけられたようにも感じました。

中田民子さん

昭和 6 年（1931）生まれ。女学校在学中より助産婦免許を取得、母が運営する伊井助産院に勤務。1989 年より同院院長へ。日本助産師会理事、同神奈川県支部長を歴任。京浜女子大学短期大学保健学科卒業。米ヘーゲル国際大学大学院日本校教育学研究科博士課程修了。2006 年、旭日双光章受章。



7500 人以上取り上げてきた先生の手

インタビュー（広報委員）野村・上野・柄本 2017.11. 4 藤沢市の伊井助産院にて（記・柄本夏紀）